

悲しみの涙を勇気に変えて

挨拶

1. 娘との突然の別れから三年経って
2. 娘の生い立ち
3. 事故と加害者について
4. 世界道路交通犠牲者の日
(11月第3日曜日)

君の居た夏

暑い夏がやってきた 君のがんばった夏が…
たくさんの試合を戦ったあの夏の日々
汗の似合う君、駆け巡るコート、サーブ、スマッシュ…
君は たくさんの仲間と共に 青春をコートにぶつけていたんだね

そして…最後の夏 お盆の帰省中にも関わらず
ラケットをしょって 君は 後輩達の応援に出かけていったね
おかあさんは 君を駅まで送ったっけ…
そして、あの日惨敗した後輩に掛ける言葉もなく、一緒に泣いてあげたそうなの

3年間、共にダブルスを組んだその後輩は 今も 君の事を…
君の事を 「永遠のパートナー」 だと言ったよ

君が居なくなって3度目の夏
今年は去年より更に 淋しいよ ゴメンね ほんとうの事なの
なんだか、深く深く 淋しさが心に突き刺さってくるの
君はどうかな？ 君も淋しい？ 大丈夫？

あの日 あの夜 この家での最後の夜… 一緒に食べたスキヤキ
とびっきり上等のお肉を奮発してネ
おとうさんに 「肉には手をだすな！」と、目配せしてネ
君に食べさせたいから…お腹いっぱい食べて欲しかったから…

あれから スキヤキ は食べられなくなったよ
でも、いつか一緒に食べようよ
君がどんな形でか
いつかきっと生まれ変わって私の前に現れるのを待ってるよ

夏は どの季節よりも君を思い出すから いつしか 嫌いになった
けれど やっぱり 君がキラキラと輝いていた
あの夏の日の君… を忘れられないから
嫌い というのを やめるネ
君の居た夏の日を忘れない 君の笑顔を…忘れない 平成20年盛夏